

## 建設通信新聞

Architectures, Constructions &amp; Engineerings News (Daily)

2009年(平成21年)4月14日(火曜日) (第三種郵便物認可)

## 世界の配管 赤錆から防ぐ

配管更新の強自工水処理装置の製造・販売を手がける日本システム企画(本社・東京葛飾区、熊野活行社長)は、3月、創業20周年を迎えた。1988年に「環境・健康に役立つ商品を提供し、社会に貢献する」という社是のもと、環海に貢献する企業として設立。同時に配管を支える事業として日本へスチール管を足立させた。一方で、「事業活動でけた利益は、できるだけ多く社会に還元してゆかなくてはならない」と思い、モンゴルと友好交流協賛会を設立。国への支援、友好の橋渡し役を務めている。

日本システム企画は、過去20年連続して黒字を計上げており、創業20周年を機に1000万円の増資を決めた。

主力商品である配管内赤錆防止装置「NMR工法装置」は、「現在の不況が追い風となり、今後、急激な市場開拓が見込める」。また、今春から販促開始の方ルウムラ智防装置「ノンケラ」は、「欧州、米国などでNMR工法装置以上の市場拡大が期待できる」とし、事業拡大に力を入れている。「配管内赤錆防止の置メカ」から、総合水処理装置メーカーへと変身している。

さらに新しく事業として



この企業  
この人

日本システム企画(株) 社長 熊野 活行氏



環境と健康に役立つ商品を提供したい

## 事業利益は社会貢献に使う

グリーンエネルギーキチである自然エネルギーを利用した新発電システムの開発も取り進んでいる。「会社は道路を通きかかると、グリーンエネルギーの発電システム会社へと今後発展していきたい」。

14年前に販売始めた「NMRパイプテクト」は、水中の自由電子と水分子で赤錆を黒錆に変え、しかも水中に多大な費用がかかることもなく、エレキポンプ装置の少ない工法として、いままで以上に脚光を浴びている。「特に、昨年末の金融危機の影響を受けて、設備更新・メンテナンス費用削減の急がれる現場で注目を集めた」という。HBC(香港上海銀行)やドイツの銀行から導入検討の話も舞い込んでいるという。「日本

も同じだ」と話すが、「今まで、モノづくり設備会社として、顧客との立場が敵対し続けてきたが、これからは考え方が変わると思う」と。「例へば、「設備費・メンテナンス費用が削減できるかどうか」が重要なポイントになる」といえる。NMRパイプテクトは、水質の改良にも役立つという。また、赤錆防止装置「ノンケラ」は、水中のカルシウムイオンを積極的に除去し、水質の浄化にも役立つという。「日本国内では、毛土換気などの冷却水設備、冷却塔やボイラー向けに、米国や欧州など、硬水の国では錆防止の必要性がある」とい

「事業の利益を多く多く社会貢献活動に生かしたい」という思いが込められたモンゴルとモンゴルの支援、交流活動も日本モンゴル友好交流協賛会(93年5月設立)が15年、日本モンゴル友好交流協賛会(2000年9月設立)が6年目を迎えて、「いずれも、人の出会いがきっかけだった」「援助物資や支給する資金は、現地に赴いて直接送る」という。

モンゴルの教育支援活動として、14年前に土壌建築物を手がけたモンゴル国立経済大学は現在、首都ウランバートルの本校のほか、6県に分校を持つ。博士課程を持つ1回生最大の私立大学まで成長している。

NMRパイプテクト



現状、NMRパイプテクトが唯一、赤錆を流出させずにマグネサイト(黒錆)化することができる

会社概要

- ▶ 創立—1988年6月13日
- ▶ 本社所在地—東京都渋谷区恒産2—21—12
- ▶ 電話番号—03—3377—1106
- ▶ ファクス—03—3377—2214
- ▶ 支店—九州支店(福岡市南区向野2—3—4) 大阪営業所(大阪府吹田市広芝町8—12) 北海道営業所(札幌市中央区北五条西25—4—1、525Mビル)
- ▶ 資本金—2億4,500万円
- ▶ 事業内容—水処理装置の製造・販売、環境改善関連商品の製造・販売、介護用品の輸入製造・販売、省エネ用品の輸入・販売、その他
- ▶ U R L—<http://www.jspkk.jp/>
- ▶ 電子メール—[jsp@jspkk.jp](mailto:jsp@jspkk.jp)

取扱物質は直接触り届ける